

2010 ひなたぼっこ通信

9月号

発行：特定非営利活動法人 ひなたぼっこ
富士見町富士見11650-1
電話・FAX 0266-61-2335
グループホーム直通 61-2223 FAX 61-2227

ホームページをご覧ください

ホームページが開設されて数ヶ月になりますが、ご覧になりましたか？

いま、ヤフーで「ひなたぼっこ富士見」と入れ、検索すると、最初のページに出できます。

毎月新しい内容を入れ替えていますので、是非、ご覧下さい。
施設の内容・利用者さんの様子・ボランティアさんの活動など、写真で見やすく編集されています。お試し下さい。・・・

YAHOOにて

ひなたぼっこ富士見

検索

クリック

お盆には花火を楽しみました



入所して3ヶ月、グループホームにもだんだんと馴染んでいただき「私の家」と思って利用して下さっています。



お盆には、迎え火をたき、童心に帰って、花火も楽しみました。

(ホームの玄関前で花火大会です)

♪ 大正琴で童謡を歌う ♪

9月3日 グループホームにボランティアさん3人が来てくださり、2階のホールで、演奏会をしていただきました。利用者さんは歌詞カードを見ながら大きな声で歌い、豊かな時間を過ごしました。



この日は、宅老所の利用者さんも参加し、30人ほどで歌いました。

「布ぞうり」作っています。♥



職員が仕入れた道具と布によって、「布ぞうり」作りが盛んです。町的生活展で売ろうと張り切っています。

ちょっと優しい健康の話

認知症について...

「認知症」は、以前は「ボケ」「痴呆」と呼ばれていた脳の病気です。

ひとは誰でも年をとると身体機能が若い頃より衰えてきます。脳も体の一部なので、加齢による変化が起こってきます。新しいことが覚えにくくなったり、物を置き忘れしたりします。

日常生活に支障のない物忘れは、生理的な老化現象ですが、支障が出てくるものは「認知症」が疑われ、65歳以上で15人に一人は患うといわれる身近な病気なのです。認知症の種類は、①アルツハイマー型(6割):脳が萎縮していく病気、②脳血管性で脳の血管障害から起こる ③その他の感染症等です

＜老化現象と認知症との物忘れの違い＞

老化による物忘れ	認知症の物忘れ
老化による生理的変化	脳の病気
体験の一部を忘れる	体験の全てを忘れる
短期間での変化はしない	徐々に(急に)進行
性格の変化はない	怒りっぽくなったり疑い深くなる

お知らせ

9月26日(日) ひなたぼっこにおいて、富士見町キャラバンメイトによる **認知症の学習会**が開かれます。どなたでも**無料**で参加できます。この際、学習しましょう。

理事会報告

新規事業として

- ① 居宅介護支援事業と ② 介護用品レンタル業
 - ③ 有料老人ホームの準備を開始します。
- 地域の皆さまにお役に立てるよう頑張ります。